



令和4年9月29日(木)

校長室より(86)



こんにちは。

今朝、いつものように正門前で横断歩道を渡ってくるはちのこに朝の挨拶をしていました。すると、ひとりの1年生が、「なんで、『はようございます』と言うんだろう…」と呟きながら歩いて行きました。次に通った女の子に挨拶をした自分の声を聞いて「ハッ」としました。自分では「おはようございます」と言っていたつもりでしたが、耳に入ってくる音は、確かに「はようございます」と聞こえました。「おはようございます」の一字一音は母音(あ・い・う・え・お)です。母音は吐いた息を舌や歯で遮らないので、子音よりもはっきり言わないと聞き取りづらいのだとわかりました。さっそく、「お」をはっきりと発音して、「おはようございます」と聞こえるように言うことにしました。挨拶というのは、言う人や言う場所で言い回し(リズム)が変わると思いませんか？みんなが、朝の会や帰りの会で声を揃えて言う「おはようございます」や「さようなら」も独特のリズムだと感じています。

5年生で教育実習をしている高橋治暉先生の総まとめの授業が3時間目がありました。社会科の「水産業のさかんな地域」という、日本の漁業について考える勉強でした。難しい内容でしたが、5年生のみんなは高橋先生の話をよく聞いて、一生懸命に自分の考えをノートに書いて発表していました。

